

## 「メッセージ」

皆さん、最高に有意義な卒業生と保護者の集い、おめでとうございます。

卒業一年目で、一番、忙しいなか、本当によく駆けつけてくれました。保護者の皆様方も、本日は遠いところ、誠にありがとうございます。

皆さん方は、創立者である私と一体不二の建学の心で、創大開学四十周年を美事(みごと)に荘厳してくれた尊き功労者であり、最も宿縁深き卒業生です。

あの東日本大震災の直後で、祝福の卒業式を開いて差し上げることもできず、本当に申し訳なく思っておりました。私の座右には、いつも皆さんの卒業文集「勝利の旭日」を大切に置いてあります。あとに続く後輩たちのために、毅然と清々(すがすが)しく道を開いてくれる皆さん方の健康と幸福と勝利を、私は妻とともに、毎日毎日、朝な夕な、懸命に祈っております。

今、皆さんはフレッシュマンとして、最も苦闘の日々でしょう。

昨日、この創大講堂での「創価栄光の集い」には、ハーバード大学のドウ・ウェイミン博士をお迎えしました。その祖先に当たる、十一世紀の中国の大哲人・欧陽脩(おうようしゅう)は「困難にぶつかってこそ、初めて才能は発揮される。そして挑戦を続けるならば、必ず勝利は得られる」と言っております。

今の苦労は全部、十年、二十年先に勝つためにあります。断じて負けてはならない。「我らは創大に学んだ、日本一いな世界一の実質の幸福者なり」との自負を胸に、何ものにも屈せず元気浚刺と前進していくことです。失敗しても、思うようにいかないことがあっても、朗らかに忍耐強く「次は断じて勝つ」という、勝利の確かなる道を築くことを忘れないで下さい。

この欧陽脩(おうようしゅう)は、親孝行の人でもありました。幼くして亡くした正義の父の志も、貧窮の中で育ててくれた母の恩も、一生忘れなかった。大成の後、恩ある父母の偉大さを記念碑に刻んで、厳然と後世に残したのであります。

今日は、卒業生の皆さんが感謝の心で「母」の歌を歌うと聞き、私は本当に嬉しい。どうか、卒業生の皆さんは、これからも親孝行を頼みます。

あの母校のタゴールの像も、皆さん方を見守っています。タゴール曰く「文明はほとんど常に、新しい冒険を激動期とともに始める」と。

激動の中、社会に躍り出た皆さんには、先頭に立って新しい人間主義の大文明を創造しゆく誇り高き使命があり、栄光があります。

私は毎日、元気です。至って元気です。大事な皆さん方も、元気第一に生き抜いてください。勝ち抜いてください。皆さん、お元気で！保護者の皆様方も、いつまでも、どこまでも、お元気で！お達者で！

わが卒業生、万歳！御父母の皆様、万歳！全三十七期生の勝利、万歳！